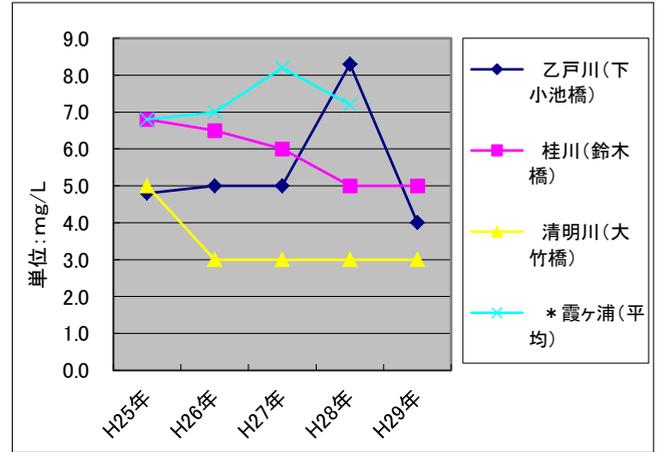


町内河川のCODの状況

1. 町内河川水質調査結果(COD) (単位:mg/L)

	H25年	H26年	H27年	H28年	H29年
乙戸川(下小池橋)	4.8	5.0	5.0	8.3	4.0
桂川(鈴木橋)	6.8	6.5	6.0	5.0	5.0
清明川(大竹橋)	5.0	3.0	3.0	3.0	3.0
*霞ヶ浦(平均)	6.8	7.0	8.2	7.2	

*霞ヶ浦問題協議会発行の「清らかな水のために」より



2. BOD、CODについて

水のごれを知るうえでとても重要な目安として、水の中の有機物の量があげられます。有機物には、プランクトン(微生物)や家庭排水などがあり、この有機物の量をあらわす数値が、BODとCODです。

■ BOD(生物化学的酸素要求量)

BODとは、微生物が有機物(汚れ)を食べるために使った酸素の量のことで、川のごれを調べるめやすとして使われています。数値が高いほど、汚れていることになります。

毒物が流れ込んでいないのに川で魚が死んでいることがある場合、考えられる原因のひとつに汚れた水(有機物)が川に流れ、それを食べている微生物たちが増え、たくさん酸素が必要となります。すると川の中の酸素が減って魚への酸素が不足し、死んでしまう事になります。

■ COD(化学的酸素要求量)

CODとは、BODと同じ汚れを調べるめやすで、CODは微生物のかわりに薬品を使って水の中の酸素の使われる量を調べます。日本では過マンガン酸カリウムを使います。CODは海や湖の汚れを調べる時に用いられています。

CODの数値目安

数値	よごれのめやす
1mg/リットル 以下	ヤマメ、イワナなどがすめるきれいな溪流
1mg/リットル から 2mg/リットル	雨水と同じくらい
2mg/リットル から 5mg/リットル	少し汚れている。3mg/L 以下ならサケ、アユがすめる
5mg/リットル から 10mg/リットル	よごれに強いコイやフナなどがすめる
10mg/リットル 以上	大変よごれていて下水や汚水がこの値を示すことが多い

3. 霞ヶ浦に係る湖沼水質保全計画(第7期:平成28年度~32年度)

(『泳げる霞ヶ浦, 遊べる河川』を目指して進めています。)

できる限り早期に、霞ヶ浦の湖水浴場が賑わっていた昭和40年代前半の状況、COD5.0mg/リットル台前半を目指します。